

ルールは 自分で創る

オープン&クローズ戦略の 活用推進セミナー

～ 研究開発とルール形成活動の連携による
社会実装の迅速化を目指して～

日時

2025

3/7

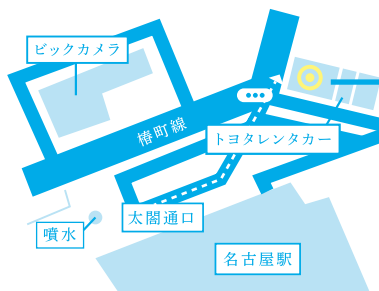
FRI

14:00
(受付開始 13:30)

17:15

会場

TKPガーデンシティPREMIUM
名古屋新幹線口バンケットホール3A



TKPガーデンシティ
PREMIUM名古屋新幹線口
(愛知県名古屋市中村区椿町1-16 3階)
※名古屋駅新幹線口から徒歩5分



参加方法・定員

ハイブリッド型セミナー

現地 100名 オンライン 500名

参加費
無料

セミナー概要

近年、カーボンニュートラルやデジタル化の進展など、産業構造やビジネス環境が大きく変化するなか、標準化と知的財産を一体的に活用する戦略(オープン&クローズ戦略)が注目されており、世界的にルール形成活動が活発化しています。

本セミナーでは、円滑な社会実装に向け、研究開発の初期段階から、ルール形成に取り組むことの重要性が高まっていることを、広く認識していただくため、産官学の有識者からの講演やパネルディスカッションを行う予定です。

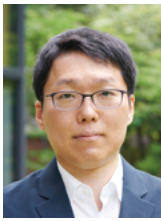
本セミナーを通じて、企業やアカデミア等に所属する皆様の社会実装に向けた研究開発活動の一助となれば幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

申込方法

右記のQRコードから
お申し込みください



登壇者



登壇者1

馬田 隆明 氏

東京大学 FoundX ディレクター

日本マイクロソフトを経て、2016年から東京大学。東京大学では本郷テックガレージの立ち上げと運営を行い、2019年からFoundXディレクターとしてスタートアップの支援とアントレプレナーシップ教育に従事する。スタートアップ向けのスライド、ブログなどで情報提供を行っている。著書に『逆説のスタートアップ思考』『成功する起業家は居場所を選ぶ』『未来を実装する』『解像度を上げる』『仮説行動』。



登壇者2

柴田 彰 氏

自動認識コンサルタント 代表

1947年生まれ。1971年日本電装(株)に入社。自動車のABS、エアコンなどの制御装置の開発・設計業務に従事。

1980年より日本で最初のPOSシステムの開発プロジェクトに参加し、ハンディリーダやターミナルの開発・設計業務に従事。1995年よりQRコードの国際標準化に従事し、数々の国際規格の発行に貢献。2011年(株)デンソーウェーブを退社し、自動認識コンサルタントを設立。

2017年度工業標準化事業表彰(内閣総理大臣表彰)受賞

プログラム

14:00	開会挨拶 稲垣 史則氏 (株式会社島津製作所 専務執行役員/最高標準化責任者)	15:25	インプットセッション② アカデミアと連携したオープン&クローズ戦略の推進 阿久津 好二氏(株式会社島津製作所 知的財産部長)
14:05	来賓挨拶 西川 奈緒氏 (経済産業省 イノベーション・環境局 国際標準課長)	15:40	インプットセッション③ アカデミアにおける研究と標準化活動の両立 松田 圭悟 (東海国立大学機構名古屋大学 情報学研究科教授)
14:10	基調講演① 「作ってから売る」と「売ってから作る」と「売れるようにしてから作る」 ～技術の社会実装のための『開発』～ 馬田 隆明氏(東京大学 FoundX ディレクター)	15:55	休憩(15分)
14:40	基調講演② QRコードの標準化と事業戦略 柴田 彰氏(自動認識コンサルタント代表)	16:10	パネルディスカッション ▼ モデレーター 鈴木 一矢氏(株式会社ドリームインキュベータ 執行役員) ▼ パネリスト 阿久津 好二氏、馬田 隆明氏、柴田 彰氏、松田 圭悟
15:10	インプットセッション① なぜ今、標準化が重要なのか? ～研究開発段階でのO&C戦略の構築～ 西川 奈緒氏 (経済産業省 イノベーション・環境局 国際標準課長)	17:10	閉会挨拶 佐宗 章弘 (東海国立大学機構名古屋大学 副総長(産学官連携担当))
		17:15	名刺交換

注)時間・内容は変更となる場合がありますのでご了承ください

主催

東海国立大学機構名古屋大学
未来社会創造機構 オープンイノベーション推進室

東海国立大学機構名古屋大学
未来社会創造機構 Future Society Studio

協力

東海国立大学機構名古屋大学
COI-NEXT セキュアでユビキタスな資源エネルギー共創拠点

東海国立大学機構名古屋大学
COI-NEXT 地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点

お問い合わせ先: 東海国立大学機構名古屋大学オープンイノベーション推進室
mail: openclose_support@t.thers.ac.jp